

平成29年3月17日(金)

中日新聞(朝刊) 17面 平成29年3月17日(金)

中日新聞(朝刊) 17面

透明な要素を排除した」と語る。

愛知産業大造形学部の柴田紗衣さんは、さまざまな動きをしたプラスチック素材のペンギンの造形物を並べた。十八日午後四時から、出展者本人が作品について解説し、名古屋芸術大音楽学部の岸舞子さんのフルートなど二人の演奏がある。参加無料。◎ギャラリー 葵丘 0564(57) 1451 (渡部圭)

柴田さんが作ったペンギンのオブジェを見る市川さんと田口さん＝岡崎市のギャラリー葵丘で



もうひとつの卒展

岡崎 4大学10人、絵や音楽

愛知教育、愛知産一している。

業、名古屋芸術、県立芸術の四大学を卒業する十人による「もうひとつの卒展」が十九日まで、岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘(名鉄東岡崎駅南口前)で開かれている。

ギャラリーが企画し、今回で十二回目。学生たちが卒業制作として手掛けた絵や造形作品、音楽などをこの時期にあらかじめ紹介

してほしい」と話す。

愛知教育大造形文化コースの田口葉さんは黒や赤などの色ガラスを使い、金属のように見えるオブジェを制作。「あえてガラスの

会場には八人の作品

を展示。女性の背中と振り向くしぐさのイラストを一枚並べた愛知

産業大造形学部の市川詞葉さんは「二枚の間

の動作を見る人に想像